



石川県 羽咋市

姉妹都市

ふじのくに はくい

展示された記念品 (写真右側)



姉妹都市提携35周年記念

藤岡市を訪問

11月10日、姉妹都市提携35周年を記念し、羽咋市から岸市長をはじめ、11人が藤岡市を訪問いたしました。

市庁舎での記念品交換の後、ふじの咲く丘で記念セレモニーを開催いただきました。

今回いただいた記念品の瓦は、羽咋市役所市民談話室に飾り、今回の訪問の様子や藤岡市の紹介、交流のあゆみなどをまとめたパネルと併せて、来庁者に公開しています。

このたびの訪問に関して、関係者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、今後も末永いお付き合いをよろしくお願い申し上げます。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.69

養蚕にまつわる伝説

～カイコの成長過程と衣笠姫～

養蚕は奈良時代の8世紀中ごろには群馬県地域でも行われていたといわれています。その後藤岡では養蚕が盛んになり、絹の集散地として栄えました。養蚕が盛んだった地域には、養蚕についての伝説が残されることが多くあります。

カイコの成長過程には「眠」という脱皮前に眠ったように動かなくなり桑も食べない期間が4回あります。今回は、その成長過程にまつわる伝説を紹介いたします。それは、昔、衣笠姫という娘が継母に4度も命を狙われ、そのたびに生き延び、最終的に蚕に生まれ変わり養蚕をもたらしたというものです。

あるとき、姫は馬小屋に閉じ込められてしまいました。そこで暴れた馬に踏まれ背中にひづめの跡が付いてしまい、姫はしばらく死んだようにぐったりしてしまいます。次に継母は姫をタカなどの怖い鳥がいる山奥の竹やぶに置き去りにしました。姫は再び死んだようにぐったりし

てしまいます。さらに継母は姫をたらいに乗せて川へ流してしまいました。姫はまた死んだようにぐったりしてしまいます。しまいには継母は庭に穴を掘って姫を生き埋めにしてしまいます。しばらくして姫が埋められたところに、体に馬のひづめのような模様のある小さな黒い芋虫が湧いていました。桑の葉を与えて育ててみると、死んだように動かなくなりしばらくすると動き出すということを4度繰り返し、繭を作りました。

この姫の一生になぞらえて、カイコの成長過程の「眠」をそれぞれ「シジ休み」「タケ休み」「フナ休み」「ニワ休み」と呼んでいます。



衣笠姫をかたどった衣笠明神の初絵

教えて！消費生活

架空請求メールに注意！

Q 左のようなメールが届きました。身に覚えがないので、どうしたら良いでしょうか。

A 身に覚えのない請求があった場合には絶対に連絡を取らないことです。有料動画の未納料金を支払わなければ裁判を起こすなどと警告するメールを送り付け、連絡先に電話をかけさせ、金銭を要求する典型的な詐欺の手口です。連絡してしまったことで何度も督促を受けたり、料金を払ってしまったりする被害に遭ったときは、消費生活センターや警察署に相談しましょう。



有料動画の未納が発生しております。本日中に連絡なき場合、法的手続きに移行させていただきます。

☎×××-×××
×-××××

【消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時】

いまからできる！



日常防災

Everyday disaster prevention

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

夜の災害から身を守る「蓄光テープ」

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】



効果的な使用方法

緊急時に外へ出するための避難経路が分かるよう、階段やドアノブなどに貼ります。

持ち出し品や防災バッグの収納場所、懐中電灯に貼っておくと暗闇でも探しやすくなります。

防災では、災害時に何を持っていくか、災害に備えて何を保管しておくかということに目が行きがちですが、一番大切なのは家族が安全に逃げ出すことです。特に地震は昼夜を問わず発生するため、もしも夜に停電してしまえば、何も見えない暗い中を移動しなければなりません。地震発生時点では怪我をしていなくても、暗い家の中で転んで怪我をしてしまうことも考えられます。

そんな時に活躍するのが「蓄光テープ」です。蓄光テープとは周囲が明るい時に光を吸収し、周囲が暗い時には発光するテープのことです。インターネットやホームセンターで購入でき、価格は500円から2,000円程度です。

急に真っ暗になった時でもパニックにならず落ち着いて行動ができるよう、安全に避難できる経路を事前に作っておきましょう。